

へき地医療と看護のねらい

東京都は、伊豆諸島や世界自然遺産の小笠原諸島の大小合わせて11の有人離島を抱える2町7村からなる島しょ地域と、東京都の西端で森林率が90%を超える深い緑に囲まれた奥多摩町や檜原村の山間地域を、医療の確保が必要なへき地と位置付け、様々な施策を行っている。

へき地医療とは、離島や山間部などのへき地で行われる医療のことであり、へき地診療所や小規模な病院がその役割を担っている。へき地の診療所や病院では、診断、治療だけでなく、健康づくりや疾病の予防など、保健分野における地域住民への関わりも重要となっている。

主たる実習病院であり、当校に隣接する広尾病院は、島内で対応できない救急患者が発生した場合に、東京消防庁や海上自衛隊の協力のもと、空路による搬送の受け入れを行うなど、へき地医療拠点病院の役割を担っている。

本科目では、多職種連携による地域包括ケアがどのように行われているか学習し、へき地の現状を社会的・文化的・地理的な背景なども含め、幅広く理解することを目的とする。

授業計画

| 科目名 | へき地医療と看護 | | 単位数 (時間) | 1 単位 (15) | 開講 時期 | 2 年次 前期 7 月 |
|----------------|---|--|-------------|----------------|-----------------------------------|-------------------|
| 科目 目標 | 1. へき地について、社会的・文化的・地理的背景を含め理解できる。 2. へき地医療の現状と課題について理解できる。 | | | | | |
| 回 | 単 元 | 内 容 | | 形式 | 担当教員 <small>*実務経験のある教員</small> | |
| 第 1 回 | へき地とは | 1 へき地とは 1) へき地の定義 2) へき地の社会的・文化的・地理的背景 3) へき地の課題 | | 講義 | 外部講師* | |
| 第 2 回 | へき地医療のしくみ | 1 へき地医療体制 1) へき地診療所の役割 2) へき地医療拠点病院の役割 3) へき地医療支援機構 | | 講義 | 外部講師* | |
| 第 3 回 | へき地とへき地医療の現状事前学習 | 1 へき地実習事前学習 1) 訪問するへき地の背景と医療の実情 2) へき地実習オリエンテーション | | 演習 | 専任教員* | |
| 第 4 回 第 5 回 | 離島・山間地域への体験学習 | 1 離島・山間地域の医療体制の実際 診療所の業務とへき地拠点病院との連携システム（島で働く医師・看護師より） ①三宅島診療所 ②新島診療所 ③奥多摩病院 2 離島・山間地域の地域住民とインタビュー交えての交流 | | 臨地実習 (地域限定) | 専任教員 診療所医師 看護師 | |
| 第 6 回 第 7 回 | まとめ | 1 体験学習後の発表とへき地医療の課題 1) 島しょの現状と課題 ①三宅島 ②新島 2) 山間部の現状と課題 ①奥多摩 | | 講義 | 専任教員* | |
| 第 8 回 | 評価 | | | 試験 | 専任教員 | |
| テキスト 参考図書 | | | | 評価方法 | 筆記 50 点 レポート 50 点 | |
| 備考 | | | | | | |